



引き渡し訓練 お世話になりました。

6月1日(水)震度5以上の地震が発生し、いったん収まった後も余震の危険があるという想定で避難訓練を行いました。児童は揺れが続いている間は黙って机の下にもぐり、その後、帰りの用意をして校庭に避難しました。先生の指示以外、声は聞こえず「おかしも」が徹底されていた訓練でした。保護者の皆様にはお忙しい中、児童の引き渡し訓練にお越しいただきありがとうございます。お陰様で時間内に無事引き渡しを完了することができました。

児童在校中に震度5弱以上の地震が実際に発生した場合は、停電等でメールの送信ができないかもしれません。「震度5弱以上の場合は原則学校待機」といたします。ご理解の程よろしく願います。



学校評議員会を行いました。

6月3日(金)第1回学校評議員会を実施しました。参加された評議員の皆様には児童の学習の様子や休み時間の様子、チャレンジタイムの様子を参観していただきました。その後、今年度の学校経営や最近の学校の様子や地域の様子等についての懇談を行いました。今後も学校、家庭、地域が連携して教育活動を進めてまいりたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

夏季におけるマスクの着用について

気温が高く熱中症が心配されるような日は、体育の授業やチャレンジタイム、下校時にマスクを外してよいと児童に伝えてきたところですが、令和4年6月10日付け文部科学省事務連絡で「学校生活における児童生徒のマスクの着用について」概略ですが以下のように示されましたので、改めてお知らせいたします。

気温、湿度、暑さ指数が高くなる中で児童生徒がマスクを着用することで、熱中症のリスクが更に高まるおそれがあり、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時の場面においては特に熱中症のリスクが高いことが予想されることから、熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導すること。その上で、できるだけ距離を空ける、近距離での会話を控える、体育館の場合は常時換気を徹底する等必要な対応を取ることを。

これを踏まえ本校でも、6月20日から「できるだけ距離を空ける」「近距離で会話をしない」ことを指導のうえ、体育の授業、チャレンジタイム、登下校時はマスクを外すよう指導したいと思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。